

KOYASAN UNIVERSITY

高野山大学

www.koyasan-u.ac.jp

まかびるしゃなによらい
「マハー・ヴァイローチャナ」とは大日如来(摩訶毘盧遮那如来)という意味です。

高野山大学 学報・同窓会だより 2018.1.1発行

マハー・ヴァイローチャナ

Vol.
77

Mahā Vairocana

P2 トピックス
P3,4 大学通信
P5 日録・寄付金御礼

P6 高野山大学史
P7-11 同窓会だより
P12 日程・入試情報



学園祭・曼荼羅祭「なごみ」開催

平成29年11月3～5日の三連休、学園祭「曼荼羅祭」が開催されました。本年度は「なごみ」と題し、教職員・学生・外部団体により、大分・徳島産焼き芋と生姜湯（書道部）、和歌山名産の茶粥、中国の湯圓（温白玉団子）、桜鳥焼き鳥などの飲食や物販の出店、茶道部によるお献茶、書道部作品展示、ぬり絵曼荼羅など工夫を凝らした様々な出店がありました。

またゲストライブとして人気アーティスト「キャラメルペッパーズ」、和歌山県出身の「川島ケイジ」さん、和歌山県のご当地アイドルグループ「Fun X Fam」ステージ、お笑いライブ（霜降り明星、ロングコートダディ、ネイビーズアフロ）、人気声優トークショー（前野智昭さん、柿原徹也さん）が行われ連日ステージを盛り上げました。更に、本学卒業生による真言宗僧侶のマジックショーや、高野山名店の利き胡麻豆腐・焼き餅大会、カラオケ大会、大ビンゴ大会などの催しで例年にまさる来場者をお迎えし、盛況に終わりました。とりわけ、声優トークショーには若い女性を中心とした700名あまりのファンが駆け付け、ステージも大変盛り上がりました。折しも高野山は紅葉の三連休、先の台風の影響で公共交通機関が運休中でしたが、大学関係者以外の方にも沢山お越しいただき、大変な賑わいを見せました。

市川染五郎氏
高野山大学特別招聘教授就任式典・記念講演会

平成29年10月25日、高野山大学特別招聘教授に就任した歌舞伎俳優の市川染五郎氏をお招きし、就任式典と記念講演会「歌舞伎を通して知る空海」を開催し、約250名が来場しました。

市川染五郎氏は平成28年4月に披露された「四月大歌舞伎」で、夢枕獏氏の小説『幻想神空海—沙門空海唐の国して鬼と宴す』を歌舞伎化した作品を演じ、その前月には舞台

の安全と成功祈願のため、奥之院に廟参されました。燈籠堂で成功を祈願した染五郎氏は「今も（空海が）生き続けていると言われていた場所。力をください」と祈願されました。その際、本学関係者から創立130周年を迎えた高野山大学の文学講師就任の依頼を受けたことから、今日の就任へと至りました。就任式典では「高野山大学特別招聘教授」の辞令を交付し、乾龍仁学長から「今後もぜひ年に何回か高野山でも講義をしていただきたい」と名刺を授与されました。

講演後の質疑応答では来場者に「何かこの『教授（市川氏）』にご質問ございましたら、ぜひ…」とはにかみながら尋ねる場面もあり、質問者に求められ一枚目の名刺を渡されました。『高野山』は非常に力を感じる場所。日常の社会とは空気が違う。染五郎として高野山でお会いできるのは最後ですが、また幸四郎として皆様とお目にかかれることを願っております」と、今回の感想を述べられました。

染五郎氏は平成30年1月、親子三代同時襲名予定で市川染五郎氏が十代目松本幸四郎を、同じく現松本幸四郎氏が二代目松本白鶴、現松本金太郎氏が八代目市川染五郎を、それぞれ襲名します。

高野山大学フジキン小川修平記念講座講演会
～宇宙の摂理への想い～ 開催

高野山大学フジキン小川修平記念講座講演会～宇宙の摂理への想い～を開催しました。書道を主題にした第10回講演会は高野山大学で開催し、長尾真先生、中川正樹先生、木本南邨先生に講演いただき、ご招待者には大学オリジナル精進ランチもご堪能いただきました。心の科学をテーマにした第11回講演会は藤田一郎先生、佐々木閑先生に講演いただき、両講演会あわせ約600名の方にご来場いただきました。

■第十回講演会 来場者：249名

日時：平成29年7月22日（土）12時半～15時半

<場所：高野山大学松下講堂黎明館>

【講演1】「人工知能と書」

長尾真先生（国際高等研究所 所長）

【講演2】「手書き文字認識の過去・現在・未来」

中川正樹先生（東京農工大学大学院工学研究院 卓越教授）

【講演3】「弘法大師の書」

木本南邨先生（高野山大学名誉教授）

■第十一回講演会 来場者：約340名

日時：平成29年10月28日（土）13時半～16時

<場所：大阪市中央公会堂>

【講演1】『見る』しくみから探る脳と心

藤田一郎先生（大阪大学基礎工学部教授）

【講演2】「仏教・心の科学」

佐々木閑先生（花園大学文学部教授）

文部科学省私立大学研究 高野山アーカイブプロジェクト
「新時代への高野山史研究」講演会・シンポジウム開催

文部科学省私立大学研究ブランディング事業の高野山アーカイブプロジェクトの活動広報の一環として、平成29年11月25日、松下講堂黎明館において「新時代への高野山史研究」と題し下記内容のシンポジウムを開催し、約120名が来場しました。

【第一部】「中世高野山の文書保管システム」

山陰加春夫（高野山大学名誉教授）

【第二部】「世界遺産としての高野山」

辻林浩（和歌山県世界遺産センター長）

【第三部】「文部科学省私立大学研究ブランディング事業 高野山アーカイブプロジェクト報告」

奥山直司（高野山大学密教文化研究所長）

寺西啓（総務課IT担当）

【第四部】「第一部～第三部合同パネルディスカッション」

コーディネーター：奥山直司

パネリスト：松長有慶（高野山大学名誉教授、密教文化研究所顧問）、山陰加春夫、辻林浩、添田隆昭（宗務総長、高野山学園理事長）、山口文章（高野山霊宝館長）、平野嘉也（高野町長）、乾龍仁（高野山大学長）、櫻木潤（高野山大学助教）



通信学習支援会・研究発表会

平成29年7月2日、難波サテライト教室にて通信教育課程教育支援会が開催され、20名が参加しました。また、7月24日には本学キャンパスにて、通信研究発表会が行われ、7名が発表しました。



夏期・秋期スクーリング

平成29年7月25日から8月2日まで、大学院通信教育課程の夏期スクーリングを行いました。受講者は「密教瞑想法（佐藤隆彦）」が26名、「現代布教論（近藤寛寛）」が12名、「インド密教美術（森雅秀）」が29名、「曼荼羅の研究（乾龍仁）」が21名でした。また宗教教育課主催で希望者を募り、各講義の日程に併せ道場研修（大善提院）を3日ずつ行い、合計12名が参加しました。10月16日から20日までの秋期スクーリングの受講者は、悉曇（五十嵐啓道）が12名、ホスピスと援助論（井上ウィマラ）が16名でした。



献血運動厚生労働大臣感謝状贈呈

平成29年7月25日（火）、和歌山県庁に於いて、「愛の血液助け合い運動」月間（7月1日～31日）行事の一環として、献血運動の推進に積極的協力し、他の模範となる実績を示した事業所・個人に対して、献血運動の功績を称えるため、感謝状の贈呈式が行われました。高野山大学から、乾龍仁学長が参加し、感謝状・記念品を受け取りました（厚生労働大臣感謝状）。

臣感謝状：献血事業の推進に関し、過去に知事表彰又はこれに準ずる表彰を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に贈呈されます。厚生労働大臣感謝状は、平成29年7月12日に秋田県で開催された「第53回献血運動推進全国大会」における受賞者に、和歌山県知事が伝達・授与するものです。



九州北部集中豪雨災害へ学友会義援金贈呈

平成29年8月3日、高野山大学学友会が高野山金剛峯寺に、主に福岡県、大分県を中心に発生した九州北部集中豪雨災害で被災された皆様へ集めた義援金を贈呈しました。大学内で集められた義援金額は、10,385円でした。



夏季集団加行

平成29年8月6日から9月23日まで、本学大菩提院（加行道場）において、高野山総持院上綱・宮田永明大阿に伝授阿闍梨をお勤めいただき、夏季集団加行を行いました。加行者は約50日間、白雲寮（僧房）に住して、修行に専心しました。

今季の加行者は、前期四名（修士1回生1名、通信2名、別科2回生1名、後期7名、密教学科4回生1名、同3回生1名、別科2回生3名、高野山高校生1名、一般1名の計11名でした。

また、尼僧は8月4日から9月23日まで、高野山寶壽院（尼僧道場）において、寶壽院門主・葛西光義大阿に伝授阿闍梨をお勤めいただき、同期間、同院に住して行いました。尼僧の内訳は、前期5名（修

夏期集中講義

平成29年8月7～9日、9月13～15日、甲田有咲非常勤講師に密教実践法の研究、「企画科目（流伝授）」を講義いただき、24名が受講しました。

連続講座開講

平成29年9月4日～22日、高野山大学難波サテライト教室において連続講座を開講し、のべ151名が受講しました。開講講座は、「後醍醐天皇と高野山（坂口太郎）」、「金剛頂経」におけるシヴァ神（徳重弘志）、「弘法大師の密教を読む（高柳健太郎）」、「心身の合一—自己の命と丁寧に向き合う—（森崎雅好）」、「弘法大師空海の生涯（櫻木潤）」、「高野山の歴史と信仰（櫻木潤）」、「弘法大師と中国文学（高柳健太郎）」、「マンガにおける異教の神々（徳重弘志）」でした。



タイ国ラタナコーシン大学、マハーチュラロンコーン大学を訪問

平成29年9月9日～11日、乾龍仁学長が水谷榮寛評議員（横浜・真照寺住職）、飛鷹全法同窓会事務局長（高野山・三宝山副住職）、小笠原由香・学生サポート課書記と共に、MOU提携校であるラタナコーシン大学を表彰訪問し、両校の今後の協力体制について討議しました。滞在中は日本語学科の在学生とも交流し、高野山大学への留学の案内をしました。また、11月30日～12月3日には、佐藤隆彦副学長が水谷師、飛鷹師、近藤説秀師（高野山・恵光院副住職）、小笠原書

士1回生1名、密教学科2回生3名、別科1回生1名の計5名でした。

記と共にタイ全国から優秀な学生が集まる日本語コンテストに主賓として出席し、本学への留学生の募集広報を行うと共に、上位入賞者への簡易面接を実施しました。その他、タイの著名な国立仏教大学であるマハーチュラロンコーン大学（MCU）を訪問し、同大学副学長と具体的なMOU締結に向けた協議をしました。MCUのInternational Buddhist Studies College（IBSC）の学長とも面会し、両大学の国際交流についての可能性を検討しました。今後、高野山大学では、留学生の受け入れにとどまらず、MCUで開催される仏教徒最大の祭典であるヴェサックへの参加等を通して、国際的な仏教研究および実践を推進していきます。



藤田光寛前高野山大学学長名譽教授称号授与式

平成29年9月13日、前高野山大学学長、藤田光寛先生の名譽教授称号授与式を行いました。藤田光寛先生は昭和23年高野山生まれ、昭和47年東北大学文学部哲学科印度学仏教史学専攻卒業。昭和52年東北大学大学院文学研



究科博士課程(印度学仏教史学)単位取得、高野山大学専任講師。昭和63年日本印度学仏教学会賞受賞。平成6年高野山大学教授。平成13年東北大学から博士(文学)学位取得。平成20年高野山大学密教文化研究所所長、高野山大学学長、平成29年退任。大圓院住職。

学位記授与式

平成29年9月13日(水)午前11時から本学第二会議室において、第90回学位記授与式が挙行されました。大学院通信教育課程4名と、学部1名が乾龍仁学長から修了証書と学位記を授与されました。



保護者懇談会

平成29年9月16日、保護者懇談会が開催され本年度入学者の保護者を中心に14組の方が来校され学科主任の報告等を受けました。

同窓会海外交流助成金授与式

平成29年9月28日、高野山大学同窓会が新設した「海外交流助成金」の授与式が行われ、タイ国からの留学生5名が奨学金を授与されました。授与式には飛鷹全法同窓会事務長、乾龍仁学長、佐藤隆彦学生担当副学長が出席し



オープンキャンパス開催報告

ました。タイからの留学生は現在、3名が寺生として山内寺院から、2名が大学生寮からそれぞれ通学し、日々勉学に励んでいます。

平成29年5月28日、6月25日、7月30日、8月20日、10月1日(難波サテライト教室)、オープンキャンパスを開催し、延べ約193名が来場されました。本年度は、宝来作りや胡麻豆腐調理体験、学食での無料精進料理体験、8月21日の報恩日にあわせ、「お速夜ナイトウォーク参加・宿泊体験ツアー(西南院泊)」を実施しました。2日間のツアーでは、夜の奥の院を参拝や天体観測、大門から壇上伽藍、根本大塔、霊宝館を本学教職員が案内しました。

本年度最後のオープンキャンパスは、1月21日、難波サテライト教室において人間学科心理ケアコース講演会「老いとマインドフルネス(西山みどり先生/有馬温泉病院ケア開発室・室長)・井上ウイマラ教授(高野山大学人間学科)」を開催します。



伝法灌頂

平成29年11月6、7日、高野山寶壽院において、寶壽院門主・葛西光義伝授大阿闍梨のもと、伝法灌

頂を開壇しました。本学大菩提院(加行道場)・高野山寶壽院(尼僧道場)で四度加行を成満した学生等が入壇し、阿闍梨位を得ました。

今年度の入壇者は、12名(修士1回生1名、密教学科4回生2名、同3回生2名、別科2回生3名、高野山高校生1名、一般(卒業生等)3名(内、尼僧1名)でした。



高野山学園教職員・先輩物故者追悼法会

平成29年11月21日、松下講堂黎明館において、本学伝統の高野山学園教職員先輩物故者追悼法会を厳修し、高野山学園の教職員先輩物故者追善仏果菩提を祈念しました。高野山大学学長、乾龍仁御導師のもと、職衆として高野山大学学生ならびに教職員18口が出仕しました。法会の次第は、奠供、唱礼、切々経、廻向文、後讀、懺悔隨喜でした。その後、参列者が焼香し、一同にて般若心経をお唱えいたしました。



追悼法会

大学墓所参観



角塔婆建立

大蔵会

法会後は、学生・教職員共に奥の院御廟大学墓所に参拝し、宗教教育課員が角塔婆を墓所に建立しました。

平成29年11月25日、第102回大蔵会が本年度の当番校である高野山大学において開催されました。



大蔵会は大正天皇のご即位式を記念して、京都仏教各宗学校連合会が主体となり発足し継続されてきた事業で、法供養、講演を行い、仏陀教法の理解を含めることにも、仏教文化財の出陳を通して仏教精神の高揚をつとめ、仏教文化財の啓蒙を図ることを目的として継続開催されています。大蔵会法供養は11時半より12時まで本館201号室にて執り行われ、記念講演会「新時代への高野山史研究(高野山アーカイブプロジェクト)」は、午後1時から4時まで松下講堂黎明館にて開催されました。

密教図像学会開催

平成29年12月2日、高野山大学松下講堂黎明館において密教図像学会第37回学会大会が開催されました。当日は研究発表会と総会が行われ、約50名が参加し、本学からは川崎洋非常勤講師が「胎蔵界曼荼羅の虚空蔵院における眷属尊について」の研究発表をしました。

翌日には高野山内の本学職員がご案内し、見学会「高野山の霊宝を訪ねて」を行い、霊宝館、壇上伽藍などを中心に、山内寺院に保管される貴重な仏像各種を特別に拝観させていただきました。

日 録 平成29年7月～12月

7月
31 30 25 24 19 10
月 日 月 日 月 日
9月卒論・修論提出期限(正午)
教授会・全学説明会
通信夏季研究発表会
夏季通信スクーリング開始
オープンキャンパス
夏季通信スクーリング終了

8月
23 21 20 8 7 4
水 月 日 火 月 金
夏季通信スクーリング
自己点検・評価執筆要綱説明会
大学評価委員会
前期授業終了
夏季休業開始
前期成績報告書提出期限
オープンキャンパス
オープンキャンパス
9月修了者口述試問報告会
通信一次判定
前期成績通知(郵送)
再試験願提出開始日
再試験願提出締切日

9月
30 29 25 16 13 6 1
土 金 月 土 水 水 金
再試験日・追試験日
教授会
学位記授与式(9月卒)
保護者懇談会
後期講義開始日
後期授講科目届変更期限
大学院前期入試
通信前期二次面接

10月
22 18 16 12 10 4 1
日 水 月 木 火 水 日
オープンキャンパス(難波)
臨時教授会
卒業論文目次届・
修士論文目次届提出期限(正午)
通常講義日
自己点検・評価書原稿締切
秋季通信スクーリング開始
秋季通信スクーリング終了
秋季通信スクーリング終了

11月
30 23 21 15 11 5 4 3
木 木 火 水 土 日 土 金
学園祭
学園祭
併設・寺院指定・特別入試
教授会
報恩日(午後休講)・追悼法会
特別開講日
修士論文提出期限

12月
25 22 21 11 3 6 2
月 金 木 水 水 土
公募・編入・別科・留学生試験
臨時教授会
教授会
報恩日(午後休講)
授業終了
冬季休業開始

平成29年度宗教行事

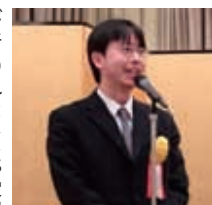
夏季集団加行 平成29年8月6日～9月23日
伝法灌頂 平成29年11月6・7日
報恩日・高野山学園物故者追悼法会 平成29年11月21日
大蔵会 平成29年11月25日
報恩日 平成29年12月21日
春季集団加行 平成30年2月上旬～3月下旬

寄付金御礼

※順不同・敬称略

前光子 十万円
林頼暹(正覚寺) 二万円
㈱新日本科学 永田貴久 三十万円
川口道雄 五十万円
佐倉啓一 六千円

受賞報告



授与式での挨拶
平成29年10月27日、徳重弘志氏(高野山大学非常勤講師)が日本密教学会賞(第23号)を受賞し、第50回学会大会開

式において授与式が行われました。受賞論文は、『金剛頂経』第23巻と第11巻の関連性について(『密教学研究』第49号)。

《略歴》昭和58年生まれ。平成18年高野山大学文学部密教学科卒業、平成20年同大学院密教学専攻修士課程修了。平成26年同大学院密教学専攻博士後期課程修了。博士(密教学)。現在、高野山大学非常勤講師。論文には、『理趣広経』、『真言分科』のブダク写本について(『密教文化研究』所紀要第28号)、『四智讃の成立と展開』、『印度学仏教学研究』第64・11号、『金剛頂タントラ』のブダク写本について(『密教文化』第23・8号)などがある。



海外からの訪問

台日友好交流協会(台湾)

平成29年4月20日

世界青年仏学研究会(中国)

平成29年4月21日

<M2>ムルトウテットウヴェ・アナンダ・テロ(スリランカ)

平成29年6月5日

マハラシュトラ州観光開発公社総裁

(インド) 平成29年6月10日

ラタナコーシン大学(タイ国)

平成29年7月5日

インド上座部比丘協会会長・サダーナダ大長老(インド)

平成29年8月5日



VEN.ムルトウテットウヴェ・アナンダ・テロ



マハラシュトラ州観光開発公社総裁



ラタナコーシン大学

テレビ放映

左記番組内で、本学教職員・学生が撮影に協力し、大学施設などが紹介されました。

じもてい愛情マップ みんな好きやねん! まちけん参上!

あなたの街のおもしろ検定(NHK)

歴史秘話ヒストリア(NHK)

プラタモリ(NHK)

平成29年9月9日、16日、23日午後7時～8時43分

日本の古都(BS-ITBS) 平成29年11月17日午後9時～11時30分
ちやぶ台(テレビ和歌山) 平成29年12月2日(午後10時～10時30分)

第10回 高野山大学史

新制高野山大学設立(旧校舎)時代～

高野山大学総合学術機構(図書館・密教文化研究所) 課長・密教文化研究所受託研究員

木下 浩良

昭和20年(1945)8月15日、天皇陛下の玉音放送により、我が国は終戦を迎えた。同月同日に本学において、配属将校が軍事教練を課せうとしたその時に、「戦争は終わったんだ」と酒井真典助教授が一喝して、ようやく終戦を迎えたことは、前号で紹介した通りである。高野山内寺院、高野山中学、大学寮に駐屯していた海軍予科練も即日下山をしたのであった。

その後、ぼつぼつと学徒動員で戦地に行った学生が本学に帰って来たが、終戦直後のことで、軍服姿の学生ばかりであった。しかも、死線を越えて来た学生は皆、気性が荒く、一時期の学内は殺伐とした雰囲気であった。

学内はグラウンドをはじめ、わずかな空き地も全てが芋畑と化し、校舎の窓ガラスは殆どが割れていた。その中で、昭和20年9月17日に講義が再開された。学長は金山穆韶教授から梅尾祥雲教授の新

体制となり、中国から帰朝した堀内寛仁助手をはじめ田中千秋・酒井真典の両先生などの新進気鋭の教授陣となった。

昭和21年(1946)4月、本学は学部・選科とも男女共学制を実施した。同年度入学者40名中、10名が女子であった。本学は明治19年(1886)の開校から、同34年(1901)頃まで男女共学をとっていた。筆者は、我が国の高等教育機関の中でも、本学が最初に男女共学制であったと考えるが、まさに45年ぶりの男女共学の大学として再出発したのであった。

新制大学として本学が認可を受けたのが、昭和24年(1949)2月21日である。掲載の写真は、その頃の校舎内の掲示室における学生と講義風景である。掲示室には6名の学生が写っている。紋白の袈裟姿の学生一人と角帽に詰襟の学生服姿が4名と、もう一人が和服姿の女学生である。この女学生は、本学の新制大学後の女子学士第一号の畚野清子女史(高野山櫻池院)と見られる。

講義風景の写真で、学生を前にして悉曇を講義しているのは若き日の堀内寛仁教授である。学生もほとんどが詰襟の学生服姿である。

昭和26年(1951)2月に学校法人高野山学園の認可を受け、本学が大学院修士課程設置認可を受けたのが翌27年(1952)4月。戦後の混乱の中でも、本学は新生高野山大学として羽ばたいた。新生日本とともに、本学においても新たな若々しい担い手が、新しい歴史のページを刻んでいったのであった。



講義風景

平成30年度同窓会総会のご案内

日 時

場 所

平成30年5月29日(火)

『総 会』午後3時～

『懇親会』午後4時30分～(会費5千円)

於 高野山大学

平成30年5月29日(火)、高野山大学同窓会総会は昨年に引き続き高野山での開催となります。
奮って総会にご参集いただき、闊達な議論とともに旧交を温め、在学生との交流を深めていただければと存じます。
また懇親会では、ゲストをお招きしての企画をご用意しておりますので、どうぞご期待くださいませ。
詳しい内容につきましては、追ってホームページでお知らせします。同窓会皆様のご参加をお願い申し上げます。

出席者人数を確認致したく存じますので、**4月27日(金)まで**にお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

—お申し込み先— 高野山大学同窓会 TEL:0736-56-2921(内線112)

FAX:0736-56-2746 E-mail:dosokai@koyasan-u.ac.jp

三八会

京都で“一生ものの語らい”を尽くす
青風の5月29日の京都は快晴。高野山大学新制第12回、昭和34年入学、同38年卒業(別科36年卒)の同期会・三八(みつばち)会が、二条駅のアーバンホテルニ条プレミアに集合し、タ刻6時より祇園・花咲で開催された。同会はしばらく休会中だったが、3年前に吉田勲隆師が会場を大阪で復活。続いて田和祐昌師が京都府下宮津市で、昨年は金森光瑞師が奈良県橿原市において開催して、ついに息を吹き返した。今回は私・土口哲光が“京都場所”の幹事に指名を受けたものである。

高野山大学を舞台に同期生として演じた同志は懐かしい。歳々に想い出は遠くなつてあせて行くが、いつも胸にしまっている面影、あの笑顔は時にはクローズアップしてくる。人生無常の中に生き残った者32人に案内状を送付すると、「出席」の返事が16人から返ってきた。歓喜勇躍して全国各地から高齢を押してのご参加に「ようこそ、ようこそ」と熱く出迎える。



三八会

宴は京料理を前に、高野山大学同窓会事務局より届いたご祝儀、祝電を披露、やむなく欠席の數本寿紀師、久利康彰師、秀潤全師からの酒肴料に謝辞を添え私の幹事報告とした。

続いて吉田師の導師で物故者15人の追悼を執り行ったのち、気力、体力に満ちあふれた金森師の発声で乾杯。「10年間、ずっと酒を断っていたが今宵は飲まずにはおられない」と、はるばる鹿児島から駆けつけた山下智詮師の気合い入りの吐露に、「おう」と席はどよめいて拍手が湧く。

この一瞬が契機となり各自の胸のうちが全開し、心をいっしょにする。次の自己紹介・近況報告に移ると、真剣に聞き耳を立て、きびしい人生の手垢にまみれた今の心境が洗われ、じつと聞き入る。最後の私になると、酒席はかつての「俺とお前」の赤裸々な姿に若返りし話は飛び交う。いよいよ一生ものの語らいにはまっていって。誰が言うともなく来年は「お四国さん」で、と谷本祥龍師にお引き受けてせがむ。後期高齢の我が身を忘れて来年を言う「鬼が笑う」だろうが、ここは一味平等の童心に返りたい、一生継続したいとの本心が働く。中締め

の田和師のことばかりもその心が読み取れ、余韻を残して灯籠のきらめく祇園町へ。みんなでそろそろ歩き出すと、丁度、西方の空に三日月が輝く。青春を刻んだあの「高野山の名月」と重ね、これだけいい。ありのままに「自然無為」で行くこと。

出席者(敬称略)
榎本寛親、金森光瑞、倉橋眞良、古賀秀彦、櫻井宥祥、谷本祥龍、田和祐昌、土口哲光、横野孝純、宮崎紀元、山下智詮、山本亮海、横山浩明、吉田勲隆、渡辺密裕

(幹事 土口哲光 記)

三二会

第16回三二会、今年は傘寿記念の同窓会です。富士山を計画、平成29年5月31日(水)・6月2日(金)箱根、富士五湖、2泊3日で開催いたしました。

5月31日曇、新幹線三島駅集合、箱根関所、芦ノ湖遊覧船、大涌谷見学、箱根小涌園泊。

6月1日曇、富士五合目、忍野八海、山梨リヤモーターカー見学センターにて時速460キロ走行見学。曇り空でしたが夕方河口湖畔富士ビューホテル着。部屋窓から富士山の全容をくつきりと見るのができ感動いたしました。懇親会では御法楽、高野山大学同窓会事務局よりの祝電とご祝儀の披露、乾盃、欠席者のメッセージ報告など。会は程よく般若湯も進み、楽しく夜も更け、最後は「青い山脈」の大合唱で盛り上がりました。

6月2日、富士五湖、白糸の滝など見学、午後2時新幹線新富士駅にて解散。富士山の美しさ、神々しい姿が心に残る同窓会でした。来年の再会を約し散会いたしました。
出席者(順不同 敬称略)



三二会

青木義孝夫妻、亀山修幸夫妻、桐井龍峯夫妻、福島誠浄夫妻、吉田憲弘夫妻、米田弘明夫妻、仲村成道夫妻、伊勢木俊眞、杉山浩義、渡辺俊彦
(幹事 仲村成道 記)

一三の会

高野山大学新制第二・三回卒業生を中心に組織する「一三の会」では、毎年恒例の同窓会を、去る6月2日(金)・3日(土)の両日に亘り、徳島市内のホテルクレメント徳島に於いて開催した。

2日夕刻、ホテル内のレストラン「藍彩」に同窓生や夫人ら総勢17名が集合し、山本宣昭師の司会で開会。幹事の平尾隆信師の歓迎挨拶に続いて、山口耕榮師経頭により般若心経を唱和して、学友物故者の追福菩提を祈念し、上西孝道師の音頭で校歌・追遥歌を斉唱した。その後杉井永明師の発声で乾杯して懇親会に移り、耳の遠くなった同志が大声で学生時代の



二三の会

思い出話に花を咲かせた。

翌3日は、朝から鳴門市の四国霊場第一番・霊山寺を参拝して亡き学友の芳村超全師の霊前に回向した後、ドイツ館を見学、阿波踊り会館では阿波踊りの実演を鑑賞した。昼食後、明年の開催地となる兵庫県神戸市の長原師が挨拶し、一年間の健康安穩を願う再会を約して散会した。

参加者(順不同・敬称略)

山本宣昭、教海俊應、平尾隆信、三星光、長原敬峰(以上夫人同伴)、山口耕榮、川西実仁、杉井永明、上西孝道、大賀実忍、今村寛玄
毎年夫婦で参加の河西密雄師が6月1日に遷化された。哀悼。

(幹事長 長原敬峰 記)

和歌山支部総会

高野山大学同窓会和歌山支部では、平成29年6月14日(水)県民交流プラザ和歌山ビッグ愛におきまして、平成29年度公開講座並びに支部総会を開催いたしました。

公開講座には、高野山大学教授の下西忠先生をお招きし「説話の魅力



和歌山支部総会

よりよい解釈を求めて」と題しましてご講演いただき、一般参加11名の方々を含め31名の参加がありました。引き続き、支部総会を開催し、塩谷光隆支部長挨拶の後、乾龍仁学長、飛鷹全法同窓会事務局長より学園の現状と今後の展望についてご説明いただきました。

閉会後、懇親会場に移動し、乾学長・下西先生を交え和やかにそして有意義な一日となりました。
(事務局 高岸隆光 記)

音楽部OB懇親会



音楽部OB懇親会

平成29年6月18日(日)、高野山大学音楽部OB懇親会を大阪梅田にて開催させていただきました。

在学中音楽部活動にご支援ご指導賜りました桐村正昭師をお迎えし、関係有縁の10名が数十年前ぶりの再会に懇親を深めました。一瞬にして在学当時の記憶がよみがえり、話が尽きない楽しい時間を過ごさせていただきました。今回の開催に際し、高野山大学同窓会事務局様に報告申し上げましたところ、ご祝儀を頂戴し厚くお礼

申し上げます。

音楽部OB懇親会は前年より連絡の取れる方を中心に開催致しております(前回は神戸で開催16名参加)。連絡のつく方で継続的に開催しつつ、できる限り輪を広げ、いずればライブを開催出来ればと夢見ております。

以上、報告申し上げますとともに、この場をお借りいたしました高野山大学在学中に音楽部活動にご参加されました同窓の皆様にもOB懇親会開催していることを知っていただき、今後の開催に是非ともご参加をお願い申し上げます。

参加者(順不同・敬称略)
桐村正昭、松尾道隆、備前寛、野満真照、福島聰空、五十嵐啓道、井上隆心、木下友真、奥川純浩、富田向真
(連絡係 富田向真 記)

広島県同窓会

平成29年6月30日(金)、福山ニユーキャッスルホテルにおいて、第34回高野山大学広島県同窓会を福山地区担当にて開催いたしましたところ、高野山大学より乾龍仁学長と飛鷹全法同窓会事務局長がご出席くださり、総



広島県同窓会

勢18名の方々にお集まりいただきました。

今年度は役員改選に当たり、総会において新役員が承認されました。

【顧問】

亀尾融照(広島市・多聞院)
廣安俊道(福山市・観音寺)

【会長】

高塩光淳(呉市・照明寺)

【副会長】

麻生紀雄(尾道市・浄土寺)
片山弘雄(福山市・明王院)

【幹事長】

濱田公重(安芸郡・大師寺)

【幹事】

※広島地区
国分良空(広島市・宝勝院)
大石峯裕(呉市・三徳寺)
※尾道地区
亀山大路(尾道市・神宮寺)
後藤密重(尾道市・薬師寺)
※福山地区
田邊賢應(福山市・田邊寺)
中田徹道(福山市・蓮乗院)

続いて乾学長と飛鷹事務局長から高野山大学の現状報告や取り組みなど説明がなされました。

引き続き懇親会に移り歓談、互いに在学当時の思い出や近況の報告、高野山大学への想いなど語りあい、最後に廣安地区幹事の音頭で校歌を合唱し、盛会のうちに今年度の同窓会を終えました。

(幹事長 竹原善生 記)

いろは支部総会 記念式典

平成29年7月23日(日)、高野山大学黎明館に於いて、いろは支部総会・記念式典が開催されました。
定刻10時総会。御法案を捧げ、川口



いろは支部総会・記念式典

道雄支部長挨拶の後、議長を選出し議事に入り、決算・予算案共に異議なく承認され、大学支援広報活動の強化、高野山内公衆トイレの清掃活動の継続を確認しました。

総会終了後、午後1時より記念式典を挙行し、御法案、御来賓ご祝辞、校歌斉唱のあと、川口支部長より「高野山大学教育研究助成金」の贈呈がありました。

また、高野山大学名誉教授の山陰加春夫先生による講演や、高野山真言宗社会人権局主催の映画「天から見れば」の上映が行われ、参加者にお楽しみいただきました。

今年も、300人を超える皆様の御臨席を得て、盛大裡に式典を執り行うことが出来ました。

心より御礼申し上げます。

(事務局 西原司朗 記)

獅子の会

平成29年8月28日(月)・29日(火)、同期会(昭和44年入学)を開催しました。

全国より12名の方々が、松山道後山の手ホテルに集まっていただきました。



獅子の会

物故された恩師・同期生追悼の祈りの後、各人近況を語り合い大いに盛り上がり、次期開催を松江での再会を約して散会しました。

母校同窓会より賀標を賜り一同感謝申し上げ、母校のさらなる発展を祈念しました。

参加者(敬称略)

笠谷寛真、金田範由、亀井山真澄、佐々木善康、高橋全道、出口法瑞、仲下瑞法、西裕信、畠田秀峯、福西勝久、堀部光正、和多俊明

(幹事 佐々木善康 記)

備前支部総会

高野山大学同窓会備前支部(新後純雄新会長)では平成29年9月4日(月)ANAクラウンプラザホテル岡山に於いて、大学本部より2名、備前支部会員32名の出席のもと平成29年度総会を開催しました。

はじめに岡山県立博物館より中田

利枝子統括学芸員にお越し頂き、「掛軸・仏像の保全方法」と演題を設け、午後4時より約1時間講演をして頂きました。質問も幾つも出て、時間を越えての終了となりました。次に、平成28年度の事業・決算報告、本年度の事業計画と予算案が全会一致で承認されました。続いて密教学科南昌宏教授より大学の現状報告と今後の方針についての説明がなされました。最後に内海照隆同窓会長より挨拶と高野山の現状についてお話し頂き閉会いたしました。

(事務局 生駒善勝 記)



備前支部総会

東北支部総会

平成29年9月15日(金)に山形市のホテルメトロポリタン山形において、平成29年度高野山大学同窓会東北支部総会を開催しました。支部総会は

東北六県持ち回りで開催され今年は初めて山形県での開催となりました。総会では間野英樹支部長に代わり永崎亮寛理事の挨拶から始まり、この後、来賓として高野山大学同窓会内海照隆会長からの挨拶がありました。同会長の挨拶の中で、高野山大学の学生の多国籍化や高野山真言宗以外の真言宗各派寺院師弟の入学が増加する傾向にあるとの現状報告がありました。

この後、議事に移り、高野山大学同窓会東北支部会則の一部改正が審議され、新たに副支部長の設置、及び本会会費の見直しが決議されました。また、役員改選が行われ、支部長に安達空信、副支部長に大坪龍勝、監事に宮亮泉、事務局長に安達照純が新たに選任されました。

(事務局 安達照純 記)

三九会

平成29年9月25日(月)・26日(火)北陸地区担当で、金沢の兼六園の隣「白鳥路ホテル山楽」に於いて参加者23名(内奥方8名)で快晴に恵まれ開催致しました。

丁度北陸新幹線が開通して2年目で観光客も増えて、街中は月曜日というのに沢山の観光客が溢れていました。集合時間は午後4時で前田のお殿様が築いた「金沢の兼六園の隣「ホテル山楽」に集まり、卯辰山の山上開創千二百年の古刹「長谷山観音院」(この観音院は金沢の地名発祥の由緒ある寺です)御本尊十一面観音様ご奉前にて参加者一同物故者19名(61名中)の在りし日を偲びながらご供養を致しました。観音院の位置は丁度金沢の夜景を見下ろす高所に有り、隣の「松魚亭」で懇親会を致しました。



東北支部総会



三九会

(肥田啓章 記)

を約して解散をしました。
出席者（順不同・敬称略）
井村正身夫妻、松本文秀夫妻、丸井弘亘、堀井隆川夫妻、田村清光夫妻、木村有泉夫妻、和田捷海夫妻、高畑公信、井上雅雄、寺島慎佳夫妻、川島弘之（以下幹事）木崎馨山、入井寛道夫妻、上野弘道、肥田啓章

出席者(順不同・敬称略)

翌日はホテルの隣の兼六園をゆっくりと散策し、公園のわき水の豊かさや、木々の手入れの様子や苔の手入れ、昔のお茶屋の様子や御亭の屋根の形式等を見ながら江戸時代の雰囲気をも堪能しました。その後金沢城公園にて三十間長屋外観をながめ休憩所から情景を眺めて雰囲気を楽しみました。昼食は金沢駅前の全日空ホテルの中華料理店「花梨」でゆっくりと別れを惜しみながら済まし、来年の再会を約して解散をしました。

一同何十年ぶりで会った方や、姿形が随分変わった方や、色々で話が尽きない、しかし皆さん喜寿の年の近くの方ですが元氣です、時間も超過していましたがホテルに向かった。ホテルでは又色々と夜遅くまで話し込みなかなか寝付かれなかったのではないかと思います。

同窓会費を送っていただいた方々

平成29年6月1日～平成29年10月31日現在
 ※※氏名下の○内の数字は会費の納入金額(単位千円)を表します。
 (順不同・敬称略)

[illegible]

鈴木	鈴木	田中	永田	奈良	松井	吉田	東	稲葉	木下	近藤	近藤	佐藤	佐伯	佐伯	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高岡	高
----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

同窓会事務局からのお知らせとお願い

○個人情報の取り扱い

同窓会では、大学から提供を受けた会員の個人情報、次の場合を除き第三者に提供いたしません。②、③については、依頼人より個人情報利用誓約書を提出して頂きます。

- ①会員を対象とした印刷物を発送する場合
- ②各支部組織の事務局からの依頼があった場合
- ③入学・卒業等の年次別の同窓会を開催する場合
- ④同窓会役員会が提供を認めた場合

○新しい支部の設立

支部組織は、都道府県単位を基本としておりますが、都道府県単位よりも大きなブロック組織や小さな地区組織、または、入学・卒業等の年次別でも設立が可能です。役員会の承認により、正式な団体として認められると、支部設立準備助成金が助成されます。

○同窓生親睦会への補助

事前に事務局までご連絡頂ければ、祝電・ご祝儀等お配りさせていただきます。

○会員のお祝い事など

同窓会員の慶弔事につきましては電報等お配りさせていただきます。ご家族の方からのご連絡でも結構です。よろしくお願い致します。

○会報のお届け

会報は、全同窓生の皆様に発送いたしておりますが、ご家族で一通のお届けをご希望の方は事務局までお申し出ください。

※住所や氏名を変更された方もお知らせください。本学ホームページの同窓会「住所・名前等の変更」のフォームからでも変更可能です。

○情報をお寄せください

同窓会事務局では会員皆様の色々な情報やご投稿をお待ちしております。各種同窓会の

様子、学生時代の思い出など、四百字以内にまとめ写真も添えてお寄せください。

【各種連絡・お問い合わせ先】
〒648-0280
伊都郡高野町高野山三八五
高野山大学同窓会事務局

電話 0736-56-2921(内線112)
FAX 0736-56-2746
E-mail dosokai@koyasan-u.ac.jp
※必ず氏名・郵便番号・住所・電話番号等をお知らせください。

○同窓会費納入のお願い

同窓会年会費3千円、終身会費9万円(累計額を含みます)は、同封の振込用紙にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

複数年度分を括して納入される場合は、その旨をお書き添えください。尚、現在の個人納入状況等ご不明な方は同窓会事務局までお問い合わせください。

発送処理上、既に今年度の会費や終身会費を納入頂いております方にも振替用紙を同封いたしております。何卒「了」承賜りますようお願い申し上げます。

平成18年度以降の新入生の方々には、入学時に終身会費6万円を、通信生・別科スピリチュアルケアコースの方々には授業料納付時に年会費3千円を頂いております。

高野山大学同窓会奨学生決定

平成29年度の高野山大学同窓会奨学生が、学生部協議会において採用されました。

【新入生奨学金・年額10万円】

熊谷 恵晃(人間学科・1年)
鈴木 理恵(人間学科・1年)
田中 能成(人間学科・1年)

以上3名

なんばで学ぶ。心理ケア×真言密教

文学部人間学科心理ケアコース 講演会&オープンキャンパス

2018年1月21日(日)
《テーマ》**老いとマインドフルネス**

13:00~13:10 開会挨拶
13:10~14:30 **「いきいきと老い、逝くために」**
西山みどり先生
14:30~14:50 **「マインドフルネスと全人的医療」**
高野山大学人間学科教授 井上ウィマラ先生
14:50~15:00 休憩
15:00~15:40 **ディスカッション**
「豊かに老いてゆくために必要なもの」
西山みどり先生、井上ウィマラ先生

司会進行:高野山大学人間学科准教授 森崎雅好

難波サテライト教室

社会人・3年次編入生対象!

【こんな方におすすめ】

弘法大師の教えを学び、心理学やスピリチュアルケアの知識資格を習得したい方。

教室は、南海難波駅から徒歩3分

社会人・シニアの学びを応援します!
給付型奨学金を創設!

取得可能資格
認定心理士・スピリチュアルケア師

入試・編入に関する個別相談を随時受け付けております。

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は、
○大学の設備・備品費などの諸経費 ○地域との連携事業の経費
○学習・就職支援室の活動費
などに用いさせていただきます。

高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、“魅力ある学校づくり”をキーワードに、これからも様々な教育改革に取り組んでまいります。皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

この趣旨にご賛同いただける方は、お手数をお掛けいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。ご連絡をいただきました方には、大学から、

○寄付申込書 ○寄付金用振替用紙 ○返信用封筒
をお送りさせていただきます。なお、寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。

皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用ください。

講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

【講師派遣お申込み手順】

1.ご希望の講師名、日時、場所講演テーマを、本学総務課までご連絡ください。

電話: 0736-56-2921

FAX: 0736-56-2746

e-mail: shomu@koyasan-u.ac.jp

2.講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。

3.「講師派遣依頼書」を提出してください。

【注意事項】

1.講演料(手取り額)

60分 ￥20,000

90分 ￥30,000

※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。

2.交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)

3.講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。

4.大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。

※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。

www.koyasan-u.ac.jp

2018年度 入学試験日程

試験種別	出願期間	試験日	合格発表	手続期間	試験科目
一般入学試験(前期)	2018年1/10(水)~1/29(月)消印有効	2/5(月) 本学・東京・大阪(難波サテライト)	2/9(金)	2/9(金)~2/23(金)	国語総合(50分100点) 小論文/コミュ英語(50分100点)
社会人入学試験	1/10(水)~1/29(月)消印有効	2/5(月)	2/9(金)	2/9(金)~2/23(金)	小論文(50分100点)/面接
留学生入学試験Ⅱ期	1/10(水)~1/29(月)消印有効	2/5(月)	2/9(金)	2/9(金)~2/23(金)	日本語/面接
一般入学試験(中期)	2/13(火)~3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火)	3/9(金)	3/9(金)~3/23(金)	国語総合(50分100点) 小論文/コミュ英語(50分100点)
編入学試験(後期)/ 社会人編入学試験(後期)	2/13(火)~3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火) 人間心理編入は大阪で受験	3/9(金)	3/9(金)~3/23(金)	小論文(50分100点)/面接
別科入試Ⅱ期 (密教専修・スピリチュアルケアコース)	2/13(火)~3/1(木)消印有効 窓口受付は5日午後4時まで	3/6(火) スピリチュアルケアコースは大阪で受験	3/9(金)	3/9(金)~3/23(金)	試問票/面接
一般入学試験(後期)	3/5(月)~3/20(火)必着 窓口3/22午後4時まで可	3/23(金) 大阪	3/26(月)	3/26(月)~3/30(金) 窓口手続き可	国語総合(50分100点) 小論文/コミュ英語(50分100点)

マハー・ヴァイローチャナ大日如来(摩訶毘盧遮那如来)

高野山大学 学報 Vol.77

2018年1月1日(1月・7月年2回)発行 発行人/乾龍仁 編集/高野山大学 企画課

発行所/高野山大学 〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 TEL. 0736-56-5445 FAX. 0736-56-2746